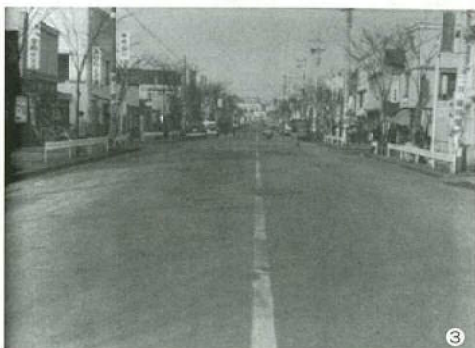


中杉通りケヤキ並木の由来

戦前の阿佐谷は、雑木林や檜屋敷と呼ばれる旧家が残るのどかな街でした。

第二次世界大戦が起これ、JR 阿佐ヶ谷駅を挟んだ青梅街道～早稻田通りの区間は、幅 50m で強制疎開により建物が撤去され、防火ベルト地帯が設けられました。

戦後、この防火ベルト地帯が中杉通りとなりましたが、当初是一片の緑もなく、殺風景なものでした。そこで地元の人々が資金を集め、昭和 29 年にケヤキの苗木 119 本を植えたものがケヤキ並木の始まりです。



① 昭和6年頃のJR阿佐ヶ谷駅 ② 昭和20年 強制疎開命令により阿佐ヶ谷駅周辺に設けられた防火ベルト地帯
③ 昭和33年 ケヤキの苗木が植えられた中杉通り ④ 昭和48年の中杉通り (写真①～④：坂井 益夫氏提供)

次号では、保護管理の検討結果をご報告致します

本取り組みに関するご意見、ご要望は、右記の連絡先まで



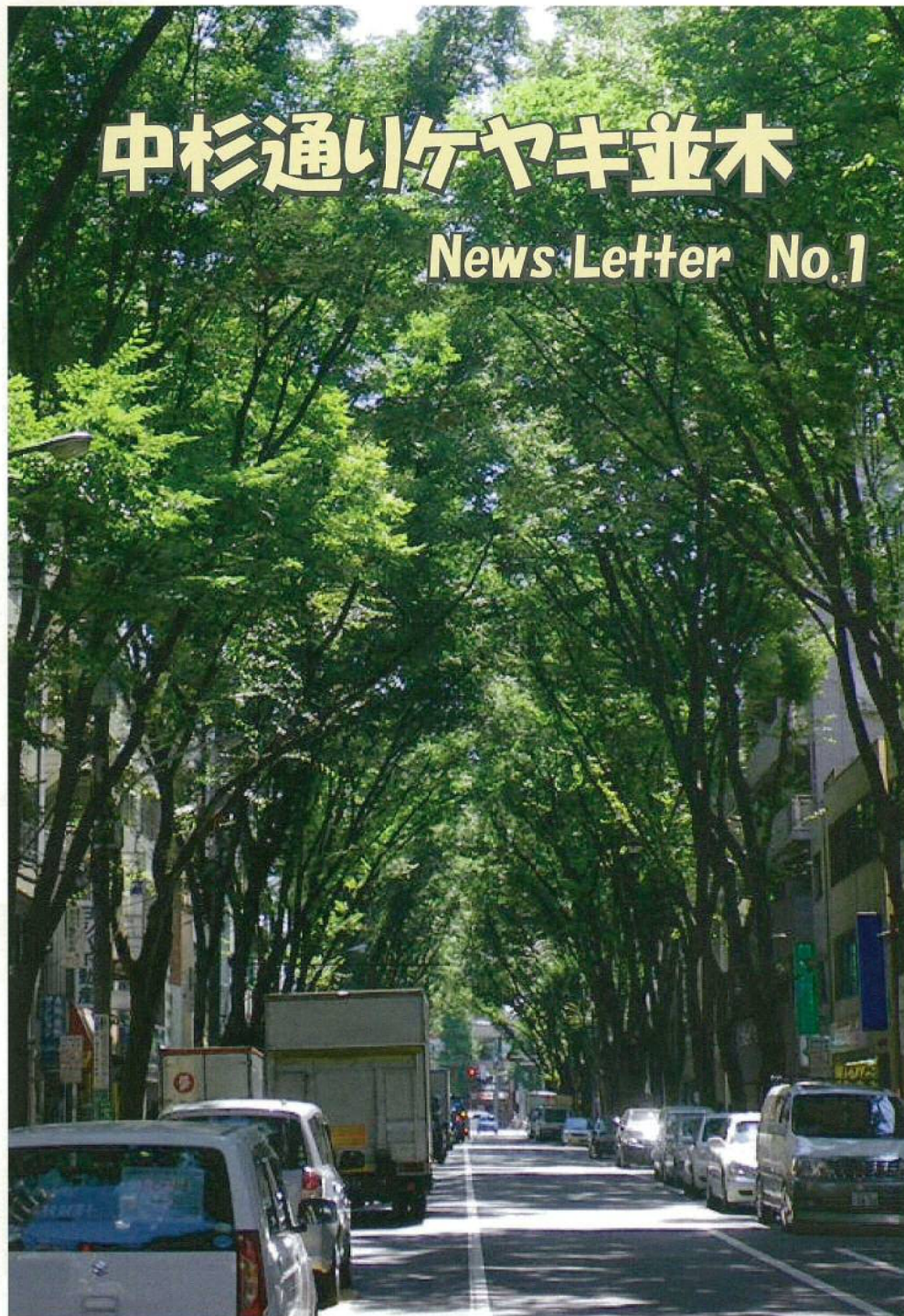
中杉通りケヤキ並木 News Letter No.1

2011.5発行

発行者 中杉通りケヤキ並木連絡会
連絡先 東京都第三建設事務所 補修課街路樹係
TEL 03-3387-5384 FAX 03-3387-9180

※転載・転用を禁じます。表紙写真：現在の中杉通り

中杉通りケヤキ並木 News Letter No.1



ふるさとのみどり

"ケヤキのトンネル" を50年後も守り育てるために

中杉通りのケヤキ並木は、杉並百景に選ばれ、杉並区のシンボルとなっていますが、平成19年にはケヤキが倒れるなどの問題が発生してきています。このため、東京都では、地元の方々及び杉並区にご協力いただき、ケヤキ並木の保護管理の検討を行っています。



中杉通り位置図

中杉通りケヤキ並木連絡会の設置

平成22年4月から、将来にわたり安全かつ健全なケヤキ並木を存続させるため、マイタウン阿佐谷協議会、杉並区、東京都の三者による「中杉通りケヤキ並木連絡会」を設置しました。

連絡会は、平成23年3月まで計3回行われ、中杉通りケヤキ並木の観察と問題点の確認、保護管理の検討を行いました。



連絡会によるケヤキ並木の観察



連絡会による保護管理の検討

現在の様子



現在の問題点

- ケヤキとケヤキの間隔が狭く、樹木同士が競り合い、弱った木が見られます。健全に育てて行くためには、十分な間隔が必要です。
- 多くのケヤキは、樹冠が大きくなりすぎ、樹形全体のバランスが悪い状態です。適切な剪定により、乱れた樹形を整えることが必要です。
- 根の成長により、歩道を盛り上げるなどの問題も見られます。安全に歩道を利用できるようにすることが必要です。



①



②



③



④



⑤



⑥

- ① 日が当らず成長の悪いケヤキ
- ② 枯れたやや大きな枝
- ③ 車との接触による痕跡
- ④ 根元が腐りキノコ（菌類）が発生
- ⑤ 樹冠が大きくなりすぎて、バランスの悪い樹形
- ⑥ 根茎による歩道の盛り上がり